

2020(令和2)年度 初任者 SD 研修「大学職員のための基礎力を身につけ、職場で応用する」 開催報告

日 時： 2020(令和2)年 10月19日(月)・29日(木)14:30～18:00(情報交換会 17:00～18:30)

会 場： オンライン(Zoom) ※事前課題はオンデマンド(YouTube)で提供

企画統括兼講師： 浅田 晋太郎氏(研修部会推進委員会 委員長、大阪女学院大学 常務理事・事務局長)

企画コーディネーター： 清水 栄子氏(追手門学院大学 基盤教育機構/教育開発センター 准教授)＊

司 会 進 行： 宮原 秀明氏(研修部会推進委員会 副委員長、大阪学院大学 大学事務長代理)

担 当 講 師： (担当順) 中西 唯氏(大阪薬科大学 総務課)＊

佐藤 浩輔氏(大阪体育大学 庶務部 研修支援担当)＊

岡本 千代恵氏(関西福祉科学大学 運営企画室)＊

城戸 直也氏(追手門学院大学 人事課 主任)＊

＊ 研修部会 推進委員

申 込 者 数： 16 大学 37 名(うち会員外 2 大学 4 名)

参 加 者 数： 16 大学 36 名(うち会員外 2 大学 3 名)

内 容 詳 細： 大学コンソーシアム大阪 HP 掲載の「シラバス」参照

実 施 結 果： 同上 HP 掲載の「PDF/参加者アンケート」参照

企 画・運 営： 大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員会

今年度の大学コンソーシアム大阪(以下、コンソ大阪という)の「初任者 SD 研修」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、開催形式をオンデマンド(YouTube)とオンライン(Zoom)を組み合わせ、2 日間の連続プログラムとして実施した。

なお、受講者には YouTube 動画「大学職員向け法令基礎講座 Vol.1～2」を研修当日までに視聴することを事前課題として課した。

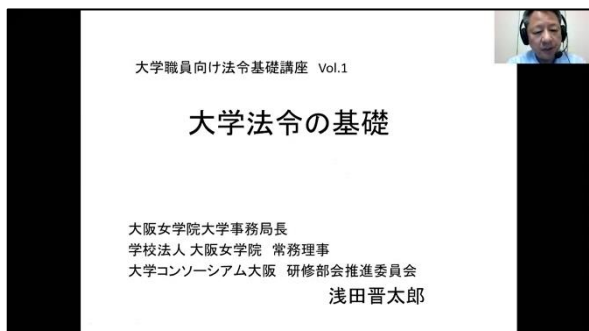
事前課題

・「大学職員向け法令基礎講座 Vol.1」(担当:浅田氏)

日本国憲法、学校教育法等の大学関連法令の基礎的理解を補助金等との関係で学ぶ。

・「大学職員向け法令基礎講座 Vol.2」(担当:中西氏)

大学設置基準に重点を置き、収容定員、大学組織等を学ぶ。



1日目 10月19日(月)

冒頭に司会の宮原氏より、推進委員長 浅田氏の紹介、また浅田氏より開会挨拶と本研修の趣旨説明があった。

浅田氏から「コロナ禍で日本のみならず、世界中の大学が新たな課題を抱えているなかで、広い視野を持ち大学職員としての基礎力をこの研修で身につけていただきたい。また、この研修での出会いを大事にすることで他大学の職員ともネットワークを形成することができ貴重な経験となるだろう。」との言葉があった。

続いて、コーディネーターの清水氏を筆頭に、講師の挨拶、自己紹介があった。



宮原副委員長



浅田委員長



清水委員

●「アイスブレイク」(担当:佐藤氏)

アイスブレイクとして Zoom の投票機能等の使い方を練習のうえ、ブレイクアウトセッションで各グループに分かれ、自己紹介を行った。



佐藤委員

●「初任者に向けたビジネスマナー講座」(担当:岡本氏)

アイスブレイクとして、各自が考える「若手の大学職員の年齢」をそれぞれに提示し、コミュニケーションがない状態で認識をすり合わせることの難しさについて触れられた。また、初任者として組織の中で求められている役割を果たすために、外部評価委員会を開催した実例を交え、電話対応、名刺交換等に必要なビジネスマナーや、ビジネス文書作成の実践用例を学んだ。



岡本委員

●「第三者評価を踏まえ教学改革について理解する」(担当:城戸氏、岡本氏)

城戸氏より大学改革のキーワードである「3つのポリシー」「教育の質保証」「教学マネジメント」についての講義があった。この導入として「なぜ教学改革をするのか?」についてグループで意見交換を行った。

途中、「教育の質保証」に関連して認証評価制度の説明があり、岡本氏より関西女子短期大学の事例が紹介された。



城戸委員

関西女子短期大学の場

昨年度 受審

- ・7年ごとに認証評価
- ・3年ごとに自己点検・評価
- ・1年ごとに自己点検評価シートにて自己評価、自己点検評価委員会にて評価

●「情報交換会」(担当:宮原氏)

本日の担当講師からのコメントの後、各受講者から本日の感想が共有された。



宮原副委員長

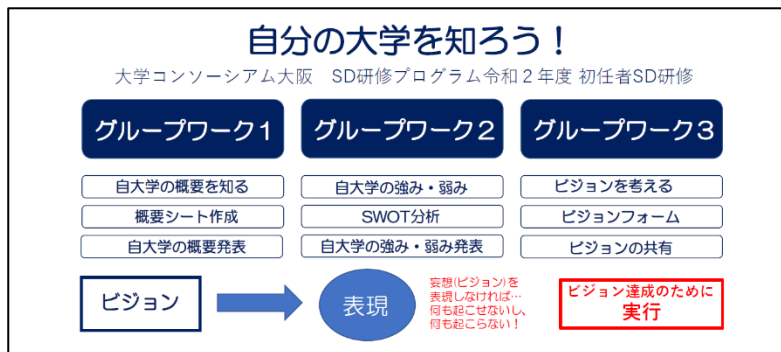
●「前回までのおさらい」(担当:佐藤氏)

前回までのおさらいと、事前課題の「大学職員向け法令基礎講座 Vol.2」の内容の收容定員、入学定員の超過率、SD 研修の義務化についての補足があった。

●「自分の大学を知ろう」(担当:佐藤氏)

所属する自大学を将来どういった大学にしていきたいか“ビジョン”を持つことで、大学職員として夢と希望を持って、前向きに日々の業務に取り組めることを目的として「Google スプレッドシート」を用いた下記 3 つのワークをグループで行った。

- ①シートに自大学の概要を記入し、各グループに分かれ発表
- ②自大学の概要をもとに SWOT 分析を行い、グループ内で発表
- ③現状と強み弱みを把握し、将来のビジョンを考える



佐藤委員

2 日目の研修を振り返ってコーディネーターの清水氏より「意外と自分の大学を知っているようで知らないことが多く、まず自分の大学を知るのは大事なことである。大学人として自大学や他大学をみたらどうなのかと視点を変えながらみるのは良いことだ。ワークでは、自大学のみならず、自身の強みや弱みもわかったと思う。今後もこの研修で学んだことを活かしてほしい。リモートで直接会えないのはもどかしく残念だったが、これを機会に継続的に、オンラインやオフラインでつながっていきたい。」とのまとめがあった。

続いて、研修全体の総括として浅田氏から、「業務を遂行する上で決断を迫られた時には、普段考えていることが自力になり生きてくる。激動の時代を担っていく皆さんに今後も頑張ってください。また、今日の講義が一つのきっかけになることを願う。」との言葉が贈られた。

最後に、受講者アンケートを実施し、2 日間にわたる研修を終了した。

続いて情報交換会が開催され、講師や受講者間での活発な意見交換が行われた。

後日、受講者には「受講証明書」が配付された。

以上